

位置図

石川県小松市・能美市



取組地域の概要

- (一級水系) 梯川水系梯川流域、(一級水系) 手取川水系手取川流域
- 令和4年8月洪水により大規模な浸水被害が発生。再度災害防止のため、令和4年11月に梯川水系緊急治水対策プロジェクトを策定し、治水対策の推進に向けて令和5年6月に治水協力協定を締結。
- 令和3年3月に策定した手取川水系流域治水対策プロジェクト及び梯川水系流域治水プロジェクトに本取組を位置付け(各水系の2.0プロジェクトでも継続)。

取組内容・効果

- 小松市及び能美市では、市街化や開発に伴い増加する雨水の流出を抑制し浸水被害を防ぐため、調整池、速やかな排水を促す排水路、排水ポンプの整備等を実施していたが、気候変動により、短期間に強い雨が降る頻度が増加している状況。
- 令和4年8月の洪水では多数の浸水被害が発生。これを受けて、小松市、能美市、土地改良区の3者は状況に応じて農業用水の事前停止を行うため、令和5年6月に治水に関する協力協定を締結し、運用を開始。
- 強い雨が予想される際には、3者は連携して手取川からの取水を事前に停止し、市内の農業用水路の水位を下げることで、雨水の貯留能力を高め、浸水被害の軽減を図る。



能美市長・小松市長・手取川宮竹用水土地改良区理事長による治水協定締結式(令和5年6月5日)

手取川からの取水停止・宮竹用水にある堰等の操作を行い用水を事前排水することで、宮竹用水約110kmの用水路の容量約30万m³で雨水貯留が可能



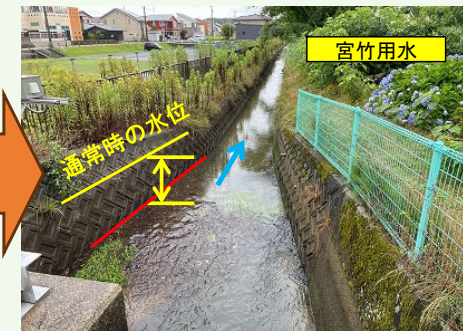
宮竹用水の主要幹線用水路網



施設管理者による水門・堰の操作状況



通常時(かんがい期)



大雨予測時(事前停水時)